

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	子ども発達スクール かすたねっと (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 13日		2026年 3月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名 (定期的な利用者)	(回答者数) 24名
○従業者評価実施期間	2026年 3月 21日		2026年 3月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達支援の知識、経験を有する職員が複数在籍している。	チーム支援として、支援経験の長い職員が療育内容の見直しやアドバイス、相談を行うことができる環境を作っております。また、定期的に支援内容を確認し、目標設定と振り返りを行う機会を設けています。	支援経験の長い職員による研修、アドバイス等はこれからも継続してまいります。また、後進の育成にも力をいれ、さらなる療育の質の向上、職員全体のレベルアップを図ってまいります。
2	日頃から保護者様と情報を共有し、お子様の状態に対して共通理解を図り、必要に応じて保護者様との家族支援を行い、保護者様、お子様の双方への支援を行うことが出来ている。	療育実施前には保護者様に最近のご様子をお伺いし、療育実施後には療育でのご様子を共有させていただき、支援の方向性の一致を図っております。お子様の状態や保護者様の悩み等、必要に応じて家族支援にて保護者様への支援を行っております。	環境の変化が大きい時期(行事・就学前)など、通常と異なる際は特に、保護者様と情報共有を密に行い、お子様の状態への共通認識を持つことが出来るよう取り組んでまいります。継続して、適宜保護者様との面談を行うなど、保護者様との情報共有および保護者様への支援の機会を設けてまいります。
3	日頃からお子様の様子を保護者様と共有している。	個別療育では保護者様に同席いただき、お子様の様子や見立て、助言などをお伝えすると同時に、ご家庭や所属先でのご様子をお伺いしております。保護者様が同席されない集団療育では、LINEを用いて療育でのご様子を共有し、必要に応じて家族支援などにて保護者様と情報共有を行っております。	療育内でのお子様の様子の共有や見立て、助言などのお伝えを継続してまいります。また、保護者様との情報共有につきましても、療育時の聞き取り、必要に応じた保護者様との面談にて継続して行っております。集団療育でのご様子の共有について、適宜方法を見直ししながら、最適な方法を模索します。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援経験の長い職員と支援経験の短い職員間にて、支援スキルの差が大きい。	支援スキルについては実務の積み上げが必要なため、支援経験の浅い職員は支援経験の長い職員との差が顕著にあらわれます。	職員の日々の研鑽と共に、スーパーバイズ体制とOJTを充実させていきます。また地域と連携した外部研修も実施していきます。
2	保護者同士の交流が少ない。	保護者参観などの機会を設けてはおりますが、コロナ禍以降保護者様の交流の機会が少なくなっております。	保護者参観の頻度を増やしたり、少人数での保護者研修など保護者が参加したい形での交流の機会を設けていきます。
3	保護者同士の交流やペアレントトレーニングの機会が少ない。	保護者参観などの機会を設けてはおりますが、お仕事や事業所までの距離との関係もあり、参加の難しい保護者もいらっしゃいました。	保護者参観の頻度を増やしたり、zoomでの研修会など、保護者が参加できる形での交流の機会を設けていきます。